国際経済論特講 II

選択　　2単位

郭　　四志

1. 授業の概要（ねらい）

院生段階では、国際経済及び中国・新興国経済に関する理論・知識を学ぶと同時に、理論・知識を使い、的確に問題発見、調査・分析及び研究能力を養うことが大切である。前期では、マクロとミクロという両サイドから、常に国際経済・中国をはじめとする新興国経済を分析、研究し、学生たちと一緒に討議しながら、講義を進める。

2. 授業の到達目標

的確に問題発見、調査・研究能力を養う。

3. 成績評価の方法および基準

レポート。

4. 教科書・参考文献

教科書

配布プリントなど。参考文献・参考資料は、授業の第1回目に、紹介する。

5. 準備学修の内容

自分の研究（修論など）を中心に資料収集・調査・研究を進めてほしい。

6. その他履修上の注意事項

マクロとミクロという両サイドから、常に国際経済・新興国経済や産業・企業などの主要問題・動きを把握し、分析すべきである。積極的に発言・討議してほしい。

7. 授業内容

【第1回】　後期学習プラン及び院生としての資料収集・調査研究方法及び論文準備・作成の進め方
【第2回】　欧州経済とゆくえ及びその中国・日本経済への影響
【第3回】　米中貿易摩擦・対立と世界経済への影響
【第4回】　世界の直接投資とクロスボーダM&A
【第5回】　日本の経常収支の動向及びその日本経済への影響
【第6回】　日本の対中国・アジア直接投資と現地事業活動
【第7回】　新時代の日中経済関係と問題点及び今後のゆくえ
【第8回】　活発しつつある中国の対外・対日直接投資・M&A
【第9回】　外部専門家による特別講義
【第10回】　アフリカ経済の光と影（筆者のアフリカ現地調査（2009～2015年）について）
【第11回】　地球温暖化・人工・資源問題の世界経済への影響
【第12回】　金融資本主義の現状・ゆくえ
【第13回】　多極化しつつある世界政治経済秩序の変化とその展望
【第14回】　まとめ・質疑
【第15回】　国際経済に関する新しい動き（LMS）